

河北新報オンラインニュース
http://www.kahoku.co.jp/
仙台・宮城の広告情報
http://kahoku.shufoo.net/

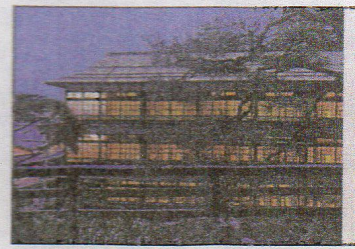
ご購読申し込みは
0120-09-5746

7:00~19:00



オンラインコミュニティ
https://kacco.kahoku.co.jp/

日専連商品券
1000円分プレゼント!
新規入会・切り替えの定款を
かほピョンくらぶ
LINK CARD
誕生
かほピョンくらぶ



白石市

飯ごうはサンゴー缶
大崎・敷玉小
サバ飯教室

復興の香り 春には開花



ラベンダーの株を植える渡辺さん(右から2人目)ら

仙台的企業、東松島でラベンダー 3500株定植

東日本大震災からの復興や雇用創出につなげようと、東松島市大塩の「東北コットンプロジェクト 東松島農場」内の畑で13日、ラベンダーの定植が行われた。6月に設立された「あ・らべんだーどつとこむ」(仙台市)の関係者が作業。同社は、ラベンダーの県内での生産拡大と医療・福祉向けの製品開発を目指す。約1500平方メートルの畑にラベンダーの品種「ラバンジン」約1700株、「イングリッシュ」約1800株を植えた。ラバンジンは美里町の第三セクター「南郷ふれあい公社」の前専務、渡辺淳さん(78)が5月に挿し木をして育ててきた。18年前からラベンダーを栽培する渡辺さんが指導を務める。渡辺さんは「栽培面積を広げ、仮設住宅に住む被災者に花

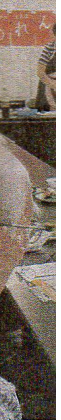
商品開発、観光農園化目指す

を見に来てもらったり、作業を手伝ってもらったりできる」と話した。応援に駆け付けた、ハーブ好きの石巻市の会社員木村たみえさん(48)は「来年春、ここに紫の花が咲くのを見るのが楽しみ」と話した。あ・らべんだーどつとこむの吉田直人社長は「県内の農家の協力や休耕地の活用により栽培面積を拡大し、医療・福祉関連といったこれまでにないラベンダー製品を開発したい」と語る。畑の所有者で同社役員も務めるイーストファームみやぎ(美里町)の赤坂芳則社長は「綿花とラベンダーで、将来の観光農園化やコラボ商品開発も視野に入れている。生産や規模拡大には十分な管理が必要で、採算を考えて進めたい」と話す。同社は来年から、ラベンダーオイルやハーブ水などを生産する計画だ。

の米を炊いた。傍らで父がハヤシの具を調理。長に目録を手渡し、「同じく働く仲間として皆で」の也誠意を込めて

市のフードコーディネーター

全料理



視果

で体づくりに役立てた「田地区安全通車管理委員会」と話した。

などが企画した。

慎重にハンドルを握り、

を引いてもらったり、

作業を手伝ってもらったり

できる」と話した。

応援に駆け付けた、ハーブ好きの石巻市の会社員木村たみえさん(48)は「来年春、ここに紫の花が咲くのを見るのが楽しみ」と話した。